生活相談
予約連絡先
工藤　ちか子
TEL（FAX）958-8821
佐藤　ともひと
TEL　080-6851-1606
深川　ともか
TEL　070-2209-7907

日本共産党三郷市議団
議会報告ニュース

2021年10・11月号
9月議会報告
日本共産党三郷市議団
三郷市役所６階（市議会控室）
TEL（953）1111（内線6641）

9月補正予算
小規模事業所への支援を追加

一般会計補正予算は総額で42億4279万円となりました。この内、約24億円を財政調整基金(市の貯金)へ積み増しました。

市議団は、この一部を活用してコロナ禍で苦境にあえぐ「中小業者への直接支援金の支給」や、ひっぱくする医療体制を守るため、昨年度に実施した「高齢者などへのインフルエンザワクチン接種の無料化」の実施など、新型コロナから市民生活を守るための積極的な取り組みをおこなうよう指摘しました。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が交付決定されたため、議会に補正予算（総額１億2,900万円）が追加提案されました。

これは、市民が求めてきた小規模事業者への支援金支給事業であり賛成しました。

住民要望が実現

○小規模事業者支援金事業

対象は‘21年4月～12月までのいずれかの月の売り上げが、前年または前々年同月比20％以上減少など飲食店を除く小規模事業者に一事業者あたり5万円を給付。
（10月中旬から受付開始予定）

○庁内サポートオフィス運営事業

障がいのあるかたとその支援員を採用（障がい者の法定雇用率2.6％に対して‘21年9月現在2.23％）

○水路改修事業

フタかけ整備を実施するために設計

○公共交通政策推進事業

路線バス沿線の市民を対象に普段の移動手段等のアンケート調査を実施（調査対象は戸ヶ崎地域）

○道水路用地取得事業

小谷堀橋架け替えのため、工事迂回路用地取得

小谷堀橋の写真

多世代交流複合施設（仮称）を
二郷団地に建設

三郷市多世代交流複合施設（仮称）の新築工事を９億２千１８０万円で実施する議案が議決しました。当初の計画では、民間のノウハウや資金を活用するＰＦＩ方式を検討し、想定事業費を約13億円としていましたが、市内の不動産開発（株）三郷営業所が落札業者となり公設方式（市が実施する直接建設）で実施することになります。

令和５年の利用開始を予定しています。また、建設完成後の施設運営については検討中としており、「指定管理者制度による民営方式」か「市の直営方式」となるかは、明らかにされていません。

外観イメージ

2020年度 決算
2020年度も
市民の声は先送り

一般会計の総額は約６９０億円（前年度比34・６％増）で歳入は「特別定額給付金」や「新型コロナ感染症対策地方創生臨時交付金」など国からの支出金が、前年度比１８４・３％の増、地方交付税も11・４％の増額となりました。

三郷市はこれらの財源を活用し、新型コロナウイルス感染症対策を実施してきましたが、政府の「ＧＯ・ＴＯキャンペーンや布マスクの支給に見られるように、科学的知見に基づく合理的な施策を打ち出せない中、市民の命と暮らしを最優先にした自治体の本来の役割が発揮されるべきでした。

また、学校給食費の無料化、子ども医療費の18歳までの拡充、誰もが利用できる住宅リフォーム助成制度など住民要望が先送りされました。新型コロナ感染拡大で暮らしがひっ迫する市民の暮らしと生業をまもる施策に足を踏み出すべきです。

市議団は、引き続き、自然災害に対応できる正規職員の確保、新型コロナの感染拡大を封じ込めるために迅速なワクチン接種とＰＣＲ検査などの実施、市内事業者への減収補填などの独自施策を実施するよう要望しました。